

# 第4回山ノ内町議会報告会結果報告

## テーマ

どうする町の活性化

その他、地域の課題等

## 開催日

平成22年11月 5日(金) 沓野郷土文化保存伝習館

平成22年11月21日(日) 北部公民館

平成22年11月27日(土) よませふれあいセンター

平成22年11月28日(日) 山ノ内町文化センター

平成22年12月23日(木) ほなみふれあいセンター

## 山ノ内町議会事務局

電話0269-33-1101 FAX33-4527 有線2020

E-mail : gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

## 山ノ内町議会報告会実施結果報告書

日 時	平成22年 11月5日(金) 午後 7時00分から午後 9時00分まで
場 所	沓野郷土文化保存伝習館 (住民参加者数：32人) 議員12、事務局1
協力団体	沓野区、沓野組、横湯組、渋湯組、東部公民館 (共催・協力・特になし)
議員役割分担	<p>総括責任者：高相美智子          司会進行：小根澤市左衛門          総務常任委員会報告者：徳竹栄子          社会常任委員会報告者：渡辺正男          観光経済常任委員会報告者：湯本市蔵          広報常任委員会：黒岩浩一          山ノ内町議会活性化研究会：小淵茂昭          記録者：高相美智子          出席議員：水島、黒岩、山本(勝)、小淵、児玉、小根澤、徳竹、渡辺、湯本、高相、大碓、山本(一)</p>
次第(担当者)	<p>1．開会          2．あいさつ              主催者：山本一二三議長              地元代表：春原忠二郎沓野区長          3．報告事項              (1) 議会常任委員会報告                  総務常任委員会報告                  社会文教常任委員会報告                  観光経済常任委員会報告                  広報常任委員会報告                  山ノ内町議会活性化研究会報告              (2) 報告について質疑          4．懇談事項              (1) どうする町の活性化              (2) その他、地域の課題等          5．あいさつ：柴野英樹沓野組惣代          7．閉会</p>

<p>報告事項の質疑 Q = 住民 A = 議員</p>	<p>Q：広報やまのうちで、議会の質疑応答が載っていた。議員の質問で6割近く人件費という質問に、町長答弁では「みんなは報酬、職員は生活給である」と言っているが、血の出るような思いで納税している。普通の企業であれば3割以上で潰れている。6割と言うことはどういうことか。儲かっていれば良いが今後どうするのか。</p> <p>A：職員も過去5%カット、2%カットをしてきている。人事院勧告で民間給に合わせている。今回も期末手当が減額される。</p> <p>A：人件費の占める割合は、町税の収入が27億で59%、約6割だが、歳入64億からみると10%である。産業が立ち直ってくれることが一番。</p> <p>Q：小学校のあり方検討委員会で、前回、統合の話が出ていたが、どこまで進んでいるか。</p> <p>A：9月議会で、あり方検討委員会を設置して検討していくとの答弁があった。第5次総合計画の中にも、統廃合の言葉は無くあり方を検討していくとなっている。当面、過疎債を使って加配の教員を付けていき今後、検討委員会の中で検討していく。</p> <p>A：小学校を統廃合することにより空く小学校ができる。企業誘致で雇用を増やす等、空いた小学校をどう使うか、早めに検討した方がいい。</p> <p>A：頂いた意見を参考にするとともに町に伝えていく。</p> <p>Q：ゴミの負担金で、山ノ内町だけ負担率が上がっている。山ノ内町は、努力してないというか、町民が努力しないとイケない。山ノ内町は、収集が甘い。</p> <p>A：ゴミの量は減っているのに、負担金が上がっている。負担の仕方を見直していくことも考えられる。</p> <p>Q：和合橋、十王堂の上、廃湯の管が陥没しそうになっている。(竹節 安治宅前)</p> <p>A：町につないでおく。</p>
	<p>(1) どうする町の活性化</p> <p>A：再投資ができにくい。日本の旅館8万件が4万件に半減している。皆、滞納でやめている。議員の役割、この町をどうしていくかコンセンサスが必要。16人の議員がひとつになれば、方向が動いていく。払える状態にしていくことが大事。民間の給与は300万円が普通。</p>

<p>懇談会意見</p> <p>Q = 住民</p> <p>A = 議員</p>	<p>町の事務職員は700万円もらっている。考えてほしい。もうゆとりがない。次のステップに乗れない。リーダーが必要。リーダーは町である。具体的な目標を持ちやっていく。例えば志賀高原の収入を倍増にするなど。</p> <p>山ノ内町、誰も知らない。町の知名度を上げていくことを考えていく。</p> <p>A：職員の給与体系は事業主と違う。給与体系（号俸）の見直し等されてきている。</p> <p>A：提言、お伺いしておく。</p> <p>A：せちがらい世の中ですぐ職員の給与の話になるが、みみっちい話をするより、この町をどうしていくかが大事。</p> <p>A：職員の給与がうらやましいなんて思わない町にしていくことが大事。</p> <p>A：町の知名度全国的に無いのは事実。山ノ内町の歴史も50年。町名変更でなく大字名を変えて各地区の知名度を上げていく。</p> <p>A：観光地名で売っているので町名変更はいらない。</p> <p>Q：3点セット、余所は無い。中核を決めてやって欲しい。議員が主体性を持って中核を決めて欲しい。</p> <p>Q：ここは、昔からスキースポーツで動いている。全国でも有数である。厳しい状況であるが、単一市町村でやるのではなく、山ノ内町が全国に呼びかけていくべきである。連休のあり方も陳情していくべき。インバウンドや産業も輸入が多くなるなか、観光のスポットとしてスキー場の発信をしていくべき。</p> <p>Q：やはりスキーは志賀高原のイメージが強い。素晴らしい観光地であるので、ぜひ一緒に頑張ってもらいたい。農家も志賀高原と一緒にやっていく。</p> <p>Q：世界経済を考えて、地産地消、農家との連携を進めることだ。</p> <p>Q：道の駅、土日人が多い。もっと活用すべき。地区ごとにイベントをやったらどうか。</p> <p>Q：道の駅のやり方、間違っている。山ノ内は、観光客目当てである。中野は、地元の人が利用している。地産地消からもっと地元が利用しやすいようにした方がいい。</p> <p>Q：スキーは、これが限界。認識すべきである。思い切って頭の切り替えが必要である。</p> <p>A：安い料金が今の時代の流れ。志賀高原は、リフト料金、宿泊代も高い。発想の転換の考えも必要。どう考えているか。</p> <p>Q：志賀高原の人も考えている。経費に硬直しているものがある。固定</p>
--	---

	<p>資産税が変わらない限りこれ以上安くできない。組織の硬直化も考えていけないといけない。新しい組織でみんなでまとまってやっていくことが必要。</p> <p>A：お客さんに、道の駅や農園を紹介したり、連れて行ったりして喜んでもらっている。山ノ内のイメージアップになる。地産地消、一品でも出していくことが必要。インターネットも取り入れ新しいお客の開拓をすることだ。</p> <p>A：道の駅には、二つある。安すぎるとダメ。高すぎてもダメ。良いものは良いなりの値段、悪いのは悪いなりの値段でやっていくのが大事。桃などすぐ柔らかくなるものは、地元旅館で使ってもらえるなど連携を考えていく。ネットワークが必要。</p> <p>A：旅館の本音は、一番いいものでなくても安くて美味しいものがほしい。</p> <p>A：農家と旅館、両方儲かる方法を今までやってこなかったのをやっていきたい。</p> <p>A：町内のバラバラの意識をひとつにしていくことが大事。</p> <p>Q：過疎地域指定をどう考えるか。</p> <p>A：今回、要件の緩和で中野市を除く北信広域連合の市町村がすべて指定。（栄村は既に指定されている）</p> <p>大変有利な過疎債が使えるため、有効に活用することが大事である。今後10年間の山ノ内町の将来計画である第5次総合計画と合わせて過疎地域自立促進計画が策定され12月議会に上程される。</p> <p>Q：山ノ内町のお米、充分おいしい。飯山や木島平の米と遜色無い。今はブランド力も量も少ないがうまい米を使ってほしい。</p>
<p>その他 反省事項等</p>	

## 山ノ内町議会報告会実施結果報告書

日 時	平成 22年11月21日(日) 午後 7 時 00分 から 午後 9 時 00分まで
場 所	北部公民館 (住民参加者数 9人) 議員12、事務局1
協力団体	須賀川区 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">共催</span> ・協力・特になし )
議員役割分担	<p>総括責任者 徳竹 栄子          司会進行 徳竹 栄子          総務常任委員会報告者：小根澤市左衛門          社会文教常任委員会報告者：水島信一          観光経済常任委員会報告者：樋口利一          広報常任委員会報告者：黒岩浩一          山ノ内町議会活性化研究会報告者：佐藤武士          記録者：小淵茂昭          出席議員：高田、渡辺、小林、山本(勝)、徳竹、黒岩、小根澤、水島、樋口、佐藤、小淵、大碓</p>
次第(担当者)	<p>1. 開 会          2. あいさつ              主催者：大碓副議長              共催者：北沢健一区長          3. 出席議員紹介          4. 報告事項            (1) 議会常任委員会報告                総務常任委員会報告                社会文教常任委員会報告                観光経済常任委員会報告                広報常任委員会報告                山ノ内町議会活性化研究会報告            (2) 報告についての質疑          5. 懇談事項            (1) どうする町の活性化            (2) その他、地域の課題等</p>

<p>主な質疑内容</p> <p>意見・提言</p>	<p>&lt; 報告事項への質問 &gt;</p> <p>Q：北部診療所跡地施設等の利用を考えたらどうか。</p> <p>A：先進地視察で玉村町では後施設利用もしている。</p> <p>Q：傷む前に早く進めるべきで、個人の家なら当然先に考えていく。大事な財産である。</p> <p>A：一般質問の答えでは、町はあきらめている。</p> <p>Q：地域事情もあるが、町が考えるべきで、除雪等お金は掛けている。</p> <p>A：医師住宅の位置づけであり、活用は地域で考えていただき、一緒に考え進めたい。</p> <p>A：件は廃止の指導で、再三話が来ている。県は復活を考えていない。活用方法が見えてこない。</p> <p>A：診療所基金は5,700万円の残高がある。</p> <p>Q：小学校問題、人口問題もある。Iターン案も含め廃屋活用の方法はあるか。</p> <p>A：利用方法は積極的に出来るかが難しい。</p> <p>Q：一軒二軒でも貸してくれると思うが。</p> <p>A：なかなか貸してくれない。購入ならあり得るが行政ではできない。民間で進めるのが良いと思う。</p> <p>Q：頭から出来ないと決め付けないでほしい。もっと考えてほしい。町は皆で助け合う考えが大事であり、地域の古いものは守りたい。一人二人でも夏の間でも地元へ来てもらいたい。</p> <p>A：飯山市の住んでみません課の事例もあり、地域活性に繋げたい。</p> <p>A：過疎地域自立促進計画で集落の整備計画が出ている。過疎にならないように出て行かないことが大事で、そちらにお金を掛けたい。</p> <p>Q：小林議員の考えは気に入らない。</p> <p>Q：地方税滞納整理機構は強制でしないでほしい。</p> <p>A：悪質で困難な場合について機構が対応して、14軒については地元職員より良いと思う。</p> <p>Q：競売やインターネット販売は地区外へ出てしまい残念である。</p> <p>Q：403号線の今後はどうなるのか。町の情報が入ってこない。町はどうなのか。</p> <p>A：裏落合の場所は、北信建設事務所の対応で、人事異動もあり情報が疎い。事業計画は進んでいる。赤坂も少し遅れている。一年くらい遅れるかもしれない。町も動きづらいところもある。区長さんと一緒に進めていきます。</p> <p>&lt; 懇談内容 &gt;</p> <p>進行：須賀川地域の要望・提言をお聞かせください。</p>
----------------------------	--

	<p>Q：除雪をしっかりとしてほしい。ホームヘルパーさんが老人の居宅介護に来てもらえない。朝だけでなく積もったら除雪してほしい。車が通れない。</p> <p>A：10cm以上は除雪出動することになっている。必要なところは気配りしていく。</p> <p>Q：排雪ができていない。PTA や学校関係者ではわからない。北小グラウンドでは少年野球で毎年お願いしなければいけないのか。</p> <p>A：北小はスキークラブがオフになるぎりぎりまで使用している。両クラブでの調整が必要。</p> <p>Q：空き地の排雪はおかしいと思うが。</p> <p>A：下流の稲作に影響があり、明神地域が全滅することが心配だ。雪室の利活用はできないか。</p> <p>Q：木島平の糠塚分校の後利用のような方法はとれないか。学校の廃校前に保育園もあぶない。</p> <p>A：一校に集合すれば町の管理は楽になる。</p> <p>Q：須賀川の活性化は後継者がいない。</p> <p>A：湯田中も後継者がいないのが実態である。</p> <p>A：後継者は西部地区の比率が高い。就職難もあり農業後継者が多いところである。</p> <p>Q：須賀川の観光にスキー場があるが、壊れた家が、おばけ屋敷になっているのが多いが処理出来ないか。町は税金をどうしているのか。</p> <p>A：課税はしているが、滞納・不納となっている。</p> <p>A：湯田中温泉街と須賀川地区スキー場とのタイアップを進めている事例もある。</p> <p>Q：98会館の利用が少ないと思う。</p> <p>Q：第5次基本計画を地域と密に計画を進めて、回数を増やして修正しながら報告してほしい。</p> <p>Q：明神～下須賀川計画は進んでいるのか。</p> <p>A：14年もかかっているが、緊急なところから進めている</p>
<p>その他反省事項等</p>	

## 山ノ内町議会報告会実施結果報告書

日 時	平成 22年11月27日(土) 午後 7 時 00分 から 午後 9 時 2分まで
場 所	よませふれあいセンター (住民参加者数 36人) 議員9、事務局1
協力団体	西部協議会、西部区長会 ( 共催・協力・特になし )
議員役割分担	<p>総括責任者 渡辺 正男          司会進行 渡辺 正男          総務常任委員会報告者：高田佳久          社会文教常任委員会報告者：佐藤武士          観光経済常任委員会報告者：児玉信治          広報常任委員会報告者：高田佳久          山ノ内町議会活性化研究会報告者：小淵茂昭          記録者：小林克彦          出席議員：山本(勝)、高相、小林、小淵、高田、児玉、佐藤、渡辺、山本(一)</p>
次第(担当者)	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ          主催者：山本一二三議長          共催者：小坂常夫西部協議会長</p> <p>3. 出席議員紹介</p> <p>4. 報告事項          (1) 議会常任委員会報告              総務常任委員会報告              社会文教常任委員会報告              観光経済常任委員会報告              広報常任委員会報告              山ノ内町議会活性化研究会報告          (2) 報告についての質疑</p> <p>5. 懇談事項          (1) どうする町の活性化          (2) その他、地域の課題等</p>

<p>主な質疑内容</p>	<p>&lt; 報告事項への質問 &gt;</p> <p>Q：町税の滞納について、議員はどのように対応しているのか。</p> <p>管内・外視察から生かされた事業は何か。</p> <p>A：滞納については、納入方法の工夫などを提案、担当者と工夫をしている。</p> <p>県でまとまってやっても難しい、取れないものは取れないとはできないので、一生懸命やるのみ。お金のとれる町にすることしかない。答弁に困る問題である。</p> <p>A：納税相談を実施、納入方法の提案で分割納入が可能となった。納入できる産業振興が急務。</p>
<p>意見・提言</p>	<p>A：飯山市の住んでみません課を視察、これまで約1億5,000万円をかけ、300名が移住、人口減がスローダウンした。第5次総合計画に若者定住促進事業が盛り込まれた。</p> <p>&lt; 懇談内容 &gt;</p> <p>Q：住民の意識改革が必要である。上でいくら言っても意識改革ができていなければ、うまく進まない。議員・議会は、住民の意識改革に取り組んでほしい。</p> <p>A：町民も事業がわかることが必要。行政評価制度を通じて気風を起こしたい。</p> <p>A：町のパブリックコメント等の機会にも発言者が少なく残念である。</p> <p>議員がどうするか、というよりも一人ひとりが発言をしていただく、という以外にない。</p> <p>A：住民基本条例も必要かと考えている。</p> <p>Q：個人の一人がやろうと思っても、意識改革が進まなければ何も出来ない。</p> <p>今日の参加者も、団体の代表者がほとんどであり個人の参加者は少ない、若い人の出席も少なく残念である。</p> <p>A：自発的に出席いただくものであり、強制はできないが努力していきたい。</p> <p>A：意識改革の一つとして、新設のボランティアセンターへの登録をお願いしたい。</p> <p>Q：ボランティアセンターの登録者で、元役場職員等は何人いるか。</p> <p>A：団体としては登録があると思うが、個人ではない。</p> <p>Q：ボランティアも、後に続く人がいない。例えば教育懇談会で、みまもりボランティアをお願いしても、誰も自らの参加がない。</p> <p>街灯を設置してくれとの注文はあるが、電球が切れていても直さない現状</p>

にある。

街灯は管理者がわからないものがある。わかるようにしてほしい。

上条の運動公園近くの街灯も切れているので、佐藤議員に上条区への手配頼みます。

A：西部協議会長 指摘の箇所は、修繕の手配をしてあります。

A：街灯（防犯灯）の管理は原則地元区であるが、問題は区と区の境のところで、指摘の箇所も場所は上条区内ですが、設置者・管理者は西部協議会です。

Q：管理者が容易にわかるように、電柱に表示板を付けたらどうか。

Q：公約を掲げて議員になったはずであるが、聞いていると私たちにどうするのか、ということばかりである。来年選挙もある、一人ひとりの考えを聞きたい。

13ページでは、観光も農業も暗いことばかりで、町民は希望を見い出せないとあるが、では議員はどうするのかを聞きたい。

国道403号についても、須賀川地区内の今後の改良がどうなっているのか。

A：暗い感触を持たれたのでしょうか。実情と問題点を書いたつもりです。

A：国道403号の改良は、表落合地区、裏落合地区もほぼ順調に進んでいます。

新幹線飯山駅開業にすべての完了が間に合うかどうかは微妙です。

A：議会報告会は、議会の統一見解を報告する場であり議員個人の私見は述べないものとして実施しておりますのでご理解ください。

Q：TPPについて、議会は取り上げているのか。

A：今のところ議会としては特別していない。今後、請願等が提出されたときに対応する。

Q：有害鳥獣対策で、わなの免許取得、毎年の更新費用が負担になっていることをどうするか。

電気柵が、中野市では科野地区から深沢まで大規模に設置され、今後被害は柵のないところの発生が予想されるがどうするか。

Q：後継者育成については、町で食べていけなければ出て行くのは観光業も同じ、具体案を提示されたい。

遊休荒廃地については、個人差（収入）を考えた対策をすべきである。

A：わな等の費用負担が、大変になっていることは知っている。町には補助を提案している。

	<p>A：中野市の電気柵については、農業委員会で視察した。科野地区から山ノ内境の深沢地区まで約9 Km で、イノシシ、クマに有効。今後出没が宇木地区に集中することが予想される。</p> <p>電気柵については、中野方式についても検討中です。</p> <p>わなの免許更新費用については、農業委員会が町に負担を要請しています。</p> <p>個人設置の電気柵については、半額3万円までの補助があります。</p> <p>A：地域営農システムを進めている。営農支援センターで各地区ごとに取り組む。</p> <p>A：わな免許更新費用の補助については、県も来年度予算化。町も専門員を配置する。</p> <p>Q：活性化について、町もいろいろやっているが、発想の転換が必要である。例えば、荒廃地には豚を放牧し荒廃地を改良して、後に豚も売却するというように、一次から三次までを取り入れること。</p> <p>A：一次から三次までを一括してやることを6次産業というが、過疎自立計画で計画している。</p> <p>A：電気柵等の問題もあるが、いまもう一つ大きな課題として最終処理がある。遊休地には、10a、3万円の補助制度があるので利用して下さい。</p> <p>Q：要望 よませ保育園の改修事業に、駐車場を加えてほしい。</p>
<p>その他反省事項等</p>	

## 山ノ内町議会報告会実施結果報告書

日 時	平成 22年11月28日(日) 午後 7 時 00分 から 午後 9 時 00分まで
場 所	町文化センター (住民参加者数 32人) 議員12、事務局1
協力団体	(財)共益会、湯田中区 (財)上条会、上条区 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">共催</span> ・協力・特になし )
議員役割分担	<p>総括責任者 佐藤 武士          司会進行 山本 勝          総務常任委員会報告者：高田佳久          社会文教常任委員会報告者：小淵茂昭          観光経済常任委員会報告者：山本勝          広報常任委員会報告者：水島信一          山ノ内町議会活性化研究会報告者：佐藤武士          記録者：水島信一          出席議員：黒岩、児玉、徳竹、小林、渡辺、水島、佐藤、山本(勝)、高田、小淵、高相、山本(一)</p>
次第(担当者)	<p>3. 開 会          4. あいさつ              主催者：山本一二三議長              共催者：西宗亮上条区区长          3. 出席議員紹介          4. 報告事項            (1) 議会常任委員会報告                総務常任委員会報告                社会文教常任委員会報告                観光経済常任委員会報告                広報常任委員会報告                山ノ内町議会活性化研究会報告            (2) 報告についての質疑          5. 懇談事項            (1) どうする町の活性化            (2) その他、地域の課題等</p>

<p>主な質疑内容 意見・提言</p>	<p>&lt;報告事項への質問&gt;</p> <p>Q:本日同一会場、同時刻に町長の後援会に対する町政報告会が行われているが、議会軽視も甚だしいと思うが。</p> <p>A:11月7日の朝、町長より議会報告会の日程を知らずに決めてしまい申し訳ないが、変更はできないとの話があり、議会としては全員一致で抗議文を手渡した。</p> <p>Q:小学校統廃合については、本来教育委員会としての方針を示すべきと思うが。また、あり方検討委員会の委員構成が、保育園検討委員会と同じと思うが。</p> <p>A:11月30日にあり方検討委員会の第1回の会議を開催する。議会は教育委員会との懇談を持ち、早急な対応を求めたが、地域に温度差があり、平成27年度の一部複式学級化までには何らかの対応をするとのことである。議会としては、お金の面から考えるのではなく、子どもの立場に立っての対応を考えて行きたい。</p> <p>Q:町の委員会、審議委員会などで町長推薦委員がいるが、選考基準は。</p> <p>A:町長が推薦するので正確には解らないが、地域で活躍している人で、女性団体の代表者が多いと思う。</p> <p>Q:第5次総合計画の策定に際し、第4次総合計画の結果を踏まえてとあるが、私たちに結果は見えないが。</p> <p>A:第5次総合計画審議会の中では、第4次総合計画の総括が示されたが、一般町民にはまだ提示されていない。後日提示されると思う。</p> <p>Q:議員定数削減について、会派拘束はなかったのか。また、16人の町議会議員に会派の必要があるのか。活性化研究会で検討したことがあるのか。</p> <p>A:議員定数に対し、会派として拘束したことはなく、個人対応とした。会派は勉強会としてスタートをした。</p> <p>Q:第5次総合計画策定にあたって、各分野における計画の見直しを行うとあるが、町民の現状は、3年も5年も待てない状況と思うが。</p> <p>A:10年計画の第5次総合計画は、前期基本計画5年、後期基本計画5年、実施計画は3年のローリング方式で行われる。</p> <p>Q:行政は継続で良いが、地域は待ったなしである。議員は危機感を持って対応してほしい。</p> <p>A:町民の皆様の意見を重点施策(アクションプラン)として23年度にも盛り込まれている。</p> <p>Q:やまびこ広場の一部を7,000万円で購入したが、議員の中に反対者はいなかったのか。第5次総合計画で公園化するとあるが、維持管理費を考えているのか。</p> <p>A:何年も借地料を払い続けるのであれば、購入したほうが良いと考えた。</p>
-------------------------	---

Q：旧町営プール跡地の所有は。

A：後日調査の上回答。（山ノ内町）

Q：町からの議案提出は年間何件か。議員提案は年間何件か。（各19・20・21年分）

A：後日調査の上回答。（19年 町～96、 議員～24  
20年 町～88、 議員～15  
21年 町～104、 議員～13）

<懇談内容>

意見：町の活性化をどうするのか、町民が議員に聞きたい。立候補時の公約に町の活性化を挙げた議員がいたが、今まで何をしてきたのか。

Q：当初予算の中に活性化資金が含まれているのだから、予算が決まったら直ぐに実行すること。また、すべての予算を何%かカットし、活性化資金に廻してほしい。

A：地方交付税が20億円前後交付されるが、予算策定時には見込みであり、8月に確定するため、補正もやむをえない。活性化とは何を見るのか、町の事業仕分けも必要かもしれない。

Q：4分の1の町民が、町には住みたくないとの調査結果があったが、原因が何処にあるのかを見極め、転出を止める努力をして欲しい。

観光連盟を作ったときに、商工会と旅館組合を統合するとのことだったが、今の状況で意思統一ができるのか。

いろいろの事業をやることは良いが、事業の継続性もない。議会としての対応を考えてほしい。

A：おっしゃる通りであり、今後とも努力をしていきたい。

Q：湯けぶりウォーク参加の町職員はボランティアなのか。

町職労はボランティア連盟に加入をしているのか。

A：町職員は、代休を取って参加していると思う。

意見：ある課長に、「ボランティアをするために町職員になったのではない」と言われたが、町民はオリンピックボランティアに無償で協力した。町職員が協力しないのはおかしいのでは。若い人が一番多い職場は役場であり、積極的な参加を願う。

意見：総務、企画、秘書課で8名の職員が必要なのか。観光商工課や農林課も職員数の削減と職員教育をしてほしい。

Q：職員の出先を管理職が知らないことはおかしいと思うが、嫌な仕事は上司に報告していないのか。おもてなしの心を言いながら、形ばかりの職員研修ではパフォーマンスとしか映らないが。

A：職員研修には議会としても苦言を呈している。第5次総合計画にも町民の福

祉や豊かさが盛り込まれており、予算付けも優先度を見極める必要がある。  
 Q：活性化のために、町職員が率先して範をたれてほしい。それによって町民も協力をすると思うが。  
 A：議員は町政に肩入れをする訳でなく、町政の攻撃をするばかりでもいけない。補正予算審議を真剣にやっていく。  
 意見：少子高齢化を止めることは不可能であることを前提に施策を考えること。おもてなしの心は、町職員にまず徹底を。  
 議員は町民の立場で活動してほしい。  
 過疎債は町の活性化のためを考えて。死に金を使わないように。

報告会の前に、湯田中の湯本敏さんから下記7項目の質問が寄せられました。この質問に対する回答は、議会ホームページ及び議会だよりで掲載しています。

記

- 1、本日の意見交換会は、議事録作成人、署名人は指名しますか。
- 2、当町の議員定数は、条例により16人と定め、月額定額で議員提案により報酬を定めていますが、現在の一人当たりの日額（年80日会期）は約26,000円～38,000円と高額です。ご意見を聞かせてください。

（長野県最低賃金は1時間693円、1日5,544円）

- 3、次の表を見て、当町の議員定数は適正だと思いますか。

市町村	人口(人)	議員数(人)	÷	面積(K m <sup>2</sup> )	÷	税収(万円)	÷
中野市	45,621	20	2,281	112.06	5.60	581,167	29,058
飯山市	24,263	16	1,427	202.32	11.90	256,254	15,073
小布施町	11,450	14	817	19.07	1.36	109,097	7,792
木島平村	4,030	12	木島平村・野沢温泉村は、人口1/2以下のため除外 (倍半法)				
野沢温泉村	5,312	8					
山ノ内町	14,224	16	889	265.93	16.62	205,600	12,850

中野市は参考

- 4、議員提出事案(件)は、まだまだ足りないと思いますか。
- 5、町予算の内、議会費7,800万円は適正だと思いますか。
- 6、いわゆる“天下り”“渡り”は、あると思いますか。  
(例えば社会福祉協議会理事長など)
- 7、当町の「事業仕分け」を実施するとしたら、一番先にどこをどう行いますか。

その他の反省  
事項等

## 山ノ内町議会報告会実施結果報告書

日 時	平成 22年12月23日(木) 午後 3 時 00分 から 午後 5 時 00分まで
場 所	ほなみふれあいセンター (住民参加者数 37人) 議員15、事務局1
協力団体	南部協議会、公民館 ( 共催・協力・特になし )
議員役割分担	<p>総括責任者 湯本 市蔵</p> <p>司会進行 湯本 市蔵</p> <p>総務常任委員会報告者：高相美智子</p> <p>社会文教常任委員会報告者：渡辺正男</p> <p>観光経済常任委員会報告者：黒岩浩一</p> <p>広報常任委員会報告者：黒岩浩一</p> <p>山ノ内町議会活性化研究会報告者：小淵茂昭</p> <p>記録者：児玉信治</p> <p>出席議員：高田、水島、樋口、山本(勝)、小根沢、湯本、高相、渡辺、黒岩、小淵、児玉、佐藤、徳竹、大裕、山本(一)、</p>
次第(担当者)	<p>5. 開 会</p> <p>6. あいさつ 主催者：山本議長 共催者：区長</p> <p>3. 出席議員紹介</p> <p>4. 報告事項 (1) 議会常任委員会報告 総務常任委員会報告 社会文教常任委員会報告 観光経済常任委員会報告 広報常任委員会報告 山ノ内町議会活性化研究会報告</p> <p>(2) 報告についての質疑</p> <p>5. 懇談事項 (1) どうする町の活性化 (2) その他、地域の課題等</p>

<p>主な質疑内容</p> <p>意見・提言</p>	<p>&lt; 報告事項への質問 &gt;</p> <p>Q : 消防設備と組織の課題は</p> <p>A : 過疎債を使い前期計画で消防署を現在地の下に建設予定 組織については現在は団員不足であり、自主防災組織と連携して対応している。委員会としては団員との懇談会等開催し意見を把握し対応しているところであります。</p> <p>Q : 有害鳥獣対策で罠にかかった物を猟友会の方に頼まなければならないのが現状である。警察の方をお願いするようなことはできないか。</p> <p>A : 猟友会に補助金をだしてお願いしているが、警察に対しては調査検討してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区協議会を組織する事により、補助制度があったが期限が終了してしまった。特別枠の可能性があるので協議会の設置をすることが必要と思う。</li> </ul> <p>Q : 捕獲された鳥獣の処理施設を広域で設置をして欲しい、又加工施設も併設して欲しい</p> <p>A : 提案としてお聞きしておきたい。</p> <p>&lt; 懇談内容 &gt;</p> <p>Q : 保育園児の減少が考えられるなかで保育園の改修費用を将来の小学校、保育園の統合という方に投資をしたほうが良いと考えるが議員の考えかたを聞かせて欲しい</p> <p>A : 有り方委員会は2年間かけて結論を出す方向でいるがその中で保護者会等関係団体の皆さんとの懇談会をしながらより良い教育環境になるように協議をしていく 町の方針を議会としてはすべて受け入れるという事ではない。</p> <p>Q : 園児が減少するのは確実であるので統合での保育をした方が子供の為にも良いと思う 又、経費削減になると思うがそういう議論をされた結果の8600万円なのか 過疎債といえども もっと有効に活用したらどうか</p> <p>A : 平25年に8600万円、平26年8100万円、平27年1600万円、合計約1億9000万円が保育園の改修費用として計画されている。この計画には議会でも議論され総合計画の附帯決議の中でも小学校の問題とも照らし合わせて間違いのないようにとの意見を附した。この問題は、若者定住とも照らし合わせて検討していかなければならないと考えている。住民の皆さんにも若者定住の為の良い考えを是非提案して欲しい。</p> <p>Q : 国保税について基金残高がマイナスになっているが説明をお願いします。</p>
----------------------------	--

A：平成21年度決算がまとまるのが6～7月で9月に議会提案される、全体の資料は7月20日現在の資料であり22年度予算は3月議会に提案されたものであり、その後21年度決算が出ることから単純に数字を合わせるとマイナスになる。

Q：基金が何故減少したのか又、基金が無くなればどうなるのか

A：・保険給付費が急激に増えた事による・所得の減少により国保税収入が落ち込んできている・平成20年度に後期高齢者制度が始まり2000人程減少した事によるものです。

平成22年度には基金は0になる。以降については町の一般財源から6000万円の繰り入れされるがまだ6000万円の不足が生じる。不足分については町側からはまだ明確な方向が示されていないのが現状です。

Q：国保税の未納額はどのくらいか

A：現在は、78、768千円ですが年々減少してきている。

Q：ごみ処理に於いて業者持込を多くすれば按分率が下がり町の負担金が減るのか

A：人口割り又施設の償却もあり単純にはそうとは言えない、全体での按分率の見直しを町として提案している。

Q：生ゴミの水分を他市町村ではどのように切っているのか

A：当町では、乾燥機コンポスト等に対応している 購入の際は補助金を交付している。

Q：旅館等の大量のゴミが出るところに乾燥機等を設置しその設備に対する補助金を出したらどうか

A：事業者の方で実施されるのなら町としても検討していかなければならないと思う

Q：過疎債といえども借金である。実質公債比率が25%に近づき 早期健全化基準を越える可能性があり心配である。健全化についてどのように取り組みをするのか。

A：本年度は実質公債比率は21.7%です。県下77市町村の中で76番目でありませんが、計画通りに進んでいるので心配は無い 25年度には13.8%になる見込みです。早期健全化基準は25%でありまた財政再生基準は35%でまだそこまでは値がなっていない。過疎債は100%起債を起こせる そのうち70%は交付税として措置される。また過疎債は28年3月までしか利用できないので町民の皆さんに大きな負担がかからないよう健全財政を維持しながら有効な利活用が必要と思っています。

Q：77とは何か

A：県下の市町村の数である。

	<p>Q：T P Pの問題について議員も議論をして当町から上部組織へ発信をしたらどうか</p> <p>A：T P Pは30年先を見越せば日本の方向として参加は間違いではないと思う、しかし農業に於いては現段階では非常に厳しい、農家の体力を付ける事が必要である。この問題については、個々の意見はそれぞれ違うと思うが議会の方へ陳情等が有れば検討していく必要があり更に勉強をしていきたいと思っています。</p> <p>Q：観光と農業に於いては非常に先行きが見えない状態である。その対策として何か考えておられるか</p> <p>A：観光についてはインバウンドに力を入れていく必要があると考える。農業については足腰の強い基盤をつくる必要が有る。これについては非常に難しい問題で有り皆さんの意見を聞かせて欲しい。</p> <p>Q：報告会の参加者が区の役員だけでなく多くの住民が参加するように意識変革を求めたい。</p> <p>A：ありがとうございます。</p> <p>下水道工事が全て完了し、先日完了式並びに接続率推進の為の大会が挙行されました。南部地区全体の接続率アップの為 区役員の皆様には是非協力をお願いしたい。</p>
<p>その他反省事項等</p>	